

【1-8】

湾・灘の区分	大阪湾、播磨灘																																								
取組の名称	ひょうごの水辺魅力再発見！支援事業																																								
事業期間及び事業費	事業期間：2016年(平成28年)～継続中 事業費：2700千円/年																																								
事業体制	兵庫県 農政環境部 環境管理局 水大気課 地域団体等(県内で活動を行うNPO等)																																								
事業の背景・目的	都市河川でのコンクリート三面張り護岸や海での直立護岸は、動植物の多様性に乏しく、人も近づきにくい構造になっている。生物生息域の再生・創出に資する沿岸域の環境の保全、再生及び創出を図るため、水辺環境の保全や再生に関する新しい知見を収集・蓄積・共有するとともに、これら水辺をフィールドとしてヨシ原の復元や、河口干潟の保全等の活動等、水辺環境の保全に資する取組を推進する。																																								
事業場所の詳細	<p>海域・河口干潟</p>																																								
事業内容	<p>(1) 補助事業 ヨシ原の復元や、河口干潟の保全等、水辺環境の保全に資する取組を行う地域団体等の実践活動に対して助成を実施。 ○補助対象 地域団体等(兵庫県内で活動を行うNPO等) ○補助額 上限50万円 ○補助団体数 5団体程度</p> <p>(2) ネットワーク化事業 地域団体等による活動の連携や情報交換等を行うための活動報告会を開催し、活動団体等のネットワーク化を図り、豊かな海を実現するための継続的な活動を支援するとともに、県民や事業者の里海づくりへの参画を促進。</p>																																								
事業の実施状況	<p>事業の実施状況については以下のとおり(実施者からの報告による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">カウント方法 (積上/単年)</th> <th rowspan="2">年度/年</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">(目標)</th> <th colspan="4">(実績)</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>その他</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊かで美しい瀬戸内海の創生</td> <td>藻場等の再生創出面積</td> <td>積上</td> <td>年度</td> <td>m²</td> <td>-</td> <td>250m²</td> <td>13,050m²</td> <td>13,300m²</td> <td>13,550m²</td> <td>13,800m² (H32)</td> <td>-</td> <td>12,800m²</td> <td>13,200m²</td> <td>13,500m²</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	項目	カウント方法 (積上/単年)	年度/年	単位	(目標)						(実績)				H27	H28	H29	H30	H31	その他	H27	H28	H29	H30	豊かで美しい瀬戸内海の創生	藻場等の再生創出面積	積上	年度	m ²	-	250m ²	13,050m ²	13,300m ²	13,550m ²	13,800m ² (H32)	-	12,800m ²	13,200m ²	13,500m ²
事業名	項目						カウント方法 (積上/単年)	年度/年	単位	(目標)						(実績)																									
		H27	H28	H29	H30	H31				その他	H27	H28	H29	H30																											
豊かで美しい瀬戸内海の創生	藻場等の再生創出面積	積上	年度	m ²	-	250m ²	13,050m ²	13,300m ²	13,550m ²	13,800m ² (H32)	-	12,800m ²	13,200m ²	13,500m ²																											
効果・影響のモニタリング手法(時期、場所、項目、把握すべき事項等)	—																																								

取組による効果・影響及びその判断基準等	事業実施により、水質の保全、生物多様性の改善のみならず、他の地域への広がりや、更なる地域住民の参加が期待できる。
モニタリングの留意点等	—
現状での課題	清掃や調査のみの実施団体は数多く見受けられるが、実際に水辺環境(ヨシ原や河口干潟等)の保全活動を図る団体が少ない。
今後の予定等	活動報告会を開催し、地域団体等による活動の連携や情報交換等から、各団体の取組を更に改善し、事業を継続する。
取組事例についての発表資料等	—
情報提供元	兵庫県 農政環境部 環境管理局 水大気課